

授業科目名： 特別支援教育総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 末次有加、伊丹昌一 担当形態：オムニバス
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別支援教育の基礎理論に関する科目		
授業のテーマ及び到達目標 特別支援教育の理念や制度を理解する。個別の教育支援計画を作成する必要性や特別支援教育コーディネーターの役割を理解する。障害種別にみた教育の現状と課題を考える。			
授業の概要 特別支援教育とは何かを福祉・医療・労働等の動向を交えながら論じ、障害種別に教育の現状を紹介し、望ましい教育的支援の在り方について検討する。			
授業計画 〈第1回～第6回 担当：伊丹昌一〉 第1回：特別支援教育の理念 第2回：特別支援教育の歴史（1：戦前の特別支援教育） 第3回：特別支援教育の歴史（2：特殊教育から特別支援教育・インクルーシブ教育へ） 第4回：特別支援教育の制度（連続性のある多様な学びの場、合理的配慮と基礎的環境整備） 第5回：福祉・医療・労働等の現状と課題（1：保護者との連携・協働、家族支援について） 第6回：福祉・医療・労働等の現状と課題（2：チームによる支援：教職員間及び関係機関との連携・協働について） 〈第7回～第11回 担当：末次有加〉 第7回：特別支援教育コーディネーターの役割（1：小・中学校等の特別支援教育コーディネーターの役割） 第8回：特別支援教育コーディネーターの役割（2：特別支援学校の特別支援教育コーディネーターの役割） 第9回：障害児の理解と教育（1：視覚障害児・聴覚障害児の理解と教育支援） 第10回：障害児の理解と教育（2：言語障害児・知的障害児の理解と教育支援） 第11回：障害児の理解と教育（3：学習障害（LD）児、注意欠如・多動性障害（ADHD）児、自閉症スペクトラム障害（ASD）児の理解と教育支援） 〈第12回～第15回 担当：伊丹昌一〉 第12回：障害児の理解と教育（4：肢体不自由児・病弱児・重症心身障害児の理解と教育支援） 第13回：アセスメントと主要な検査（1：子どもの実態把握と行動観察の方法） 第14回：アセスメントと主要な検査（2：心理検査〔知能検査、性格検査、適性検査〕と発達検査等の活用と課題） 第15回：総括 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領 文部科学省 特別支援教育の基礎・基本 2020（国立特別支援教育総合研究所著、ジアース教育新社）			
参考書・参考資料等 障害のある子供の教育支援の手引き（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課、ジアース教育新社）			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 知的障害者の心理・ 生理・病理		教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 浅野孝平、木野稔、小椋たみ 子、大脇万起子、伊丹昌一 担当形態：オムニバス
科 目		特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等		特別支援教育領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関 する科目 (中心領域：知、含む領域：肢・病)		
授業のテーマ及び到達目標 大脳の解剖・生理の基礎的知識を学ぶ。知的障害の原因となる代表的な疾患を、合併する肢 体不自由、病弱領域も一部含めて理解する。知的障害者の心理について理解を深める。				
授業の概要 基本的な医学的知識と知的障害の疾患の代表的なものについて、合併する肢体不自由、病弱 領域も一部含めて講述する。また、知的障害者の心理について概説する。				
授業計画 〈第1回～第3回 担当：浅野孝平〉 第1回：人体の遺伝学と発生学 第2回：大脳の解剖・生理（1）表面 第3回：大脳の解剖・生理（2）中心部 〈第4回～第6回 担当：木野稔〉 第4回：知的障害をきたす疾患（遺伝性疾患） 第5回：知的障害をきたす疾患（染色体異常） 第6回：知的障害をきたす疾患（胎芽病、胎児病、周産期疾患） 〈第7回～第8回 担当：大脇万起子〉 第7回：知的障害をきたす疾患（難治てんかん） 第8回：知的障害をきたす疾患（精神遅滞を伴う自閉症） 〈第9回～第11回 担当：伊丹昌一〉 第9回：知的障害者の知能の評価と特徴 第10回：知的障害者の概念・思考の特徴 第11回：知的障害者の学習能力の特徴 〈第12回～第15回 担当：小椋たみ子〉 第12回：知的障害者の性格・行動の特徴 第13回：知的障害者の職業 第14回：知的障害者の家族の心理 第15回：総括 定期試験				
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 障害者の心理・「こころ」育ち・成長・かかわり（池田勝昭・目黒達哉編著、学術図書出版 社）				
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。				
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。				

授業科目名： 肢体不自由者の心理・ 生理・病理		教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 平野俊一朗、大脇万起子、小 田浩伸
				担当形態：オムニバス
科 目		特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等		特別支援教育領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関 する科目 (中心領域：肢、含む領域：知・病)		
授業のテーマ及び到達目標 肢体不自由者の病態理解のために必要な医学的基礎知識を、合併する知的障害、病弱領域も一部含めて学ぶ。肢体不自由者の心理について理解を深める。				
授業の概要 肢体不自由者の病態理解のために必要な医学的基礎知識を、合併する知的障害病弱領域も一部含めて講述する。また、肢体不自由者の心理について概説する。				
授業計画 〈第1回～第2回 担当：平野俊一朗〉 第1回：運動系・神経系の解剖・生理（1）脊髄 第2回：運動系・神経系の解剖・生理（2）脳 〈第3回～第8回 担当：羽多野わか〉 第3回：肢体不自由者をきたす神経疾患（脳性麻痺） 第4回：肢体不自由者をきたす神経疾患（二分脊椎症、重症筋無力症） 第5回：肢体不自由者をきたす筋疾患（筋ジフトロフィー症） 第6回：肢体不自由者をきたす整形外科的疾患（脊椎カリエス、関節結核） 第7回：肢体不自由者をきたす整形外科的疾患（胎性軟骨発育異常、骨形成不全） 第8回：肢体不自由者をきたす整形外科的疾患（ペルテス病、先天性股脱、関節リウマチ、脊柱側彎症） 〈第9回～第10回 担当：大脇万起子〉 第9回：肢体不自由者の概念・思考の特徴 第10回：肢体不自由者の知能の特徴 〈第11回～第15回 担当：小田浩伸〉 第11回：肢体不自由者の学習能力の特徴 第12回：肢体不自由者の性格・行動の特徴 第13回：肢体不自由者の職業 第14回：肢体不自由者の家族の心理 第15回：総括 定期試験				
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 障害の重い子どもの授業づくり（飯野順子・授業づくり研究会I&M編著、ジアース教育新社）				
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。				
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。				

授業科目名： 病弱者の心理・生理・ 病理	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 木野稔、平賀健太郎 担当形態：オムニバス
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別支援教育領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関 する科目 (中心領域：病、含む領域：知・肢)		
授業のテーマ及び到達目標 病弱者を医学的に扱う小児医学を、合併する知的障害、肢体不自由領域も一部含めて学び、 代表的な疾患を理解する。病弱者の心理について理解を深める。			
授業の概要 病弱者の小児医学の代表的な疾患を中心に、合併する知的障害、肢体不自由領域も一部含め て講述する。また、病弱者の心理について概説する。			
授業計画 〈第1回～第8回 担当：木野稔〉 第1回：感染症（ウイルス性、細菌性、真菌性） 第2回：心疾患、腎疾患 第3回：血液疾患（白血病、紫斑病、血友病） 第4回：内分泌疾患 第5回：膠原病、てんかん 第6回：消化器疾患、呼吸器疾患（気管支炎、肺炎、結核） 第7回：アレルギー性疾患（喘息、アトピー） 第8回：その他の疾患 〈第9回～第15回 担当：平賀健太郎〉 第9回：病弱者の代表的な疾患別の心理 第10回：病弱者のセルフケア行動（アドヒアランスを高める方法） 第11回：健康行動理論による心理的支援 第12回：病弱者の復学における課題 第13回：病弱者の自尊感情の問題 第14回：病弱者の家族支援の問題 第15回：総括 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 病気の子どもの教育支援ガイド（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所編著、ジアース 教育新社）			
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。			
学生に対する評価 2回のレポート（60％）と試験（40％）により評価する。			

授業科目名： 知的障害教育論Ⅰ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 高田昭夫 担当形態：単独
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別支援教育領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：知、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 知的障害教育の歴史と現状と課題を知る。知的障害教育における教育課程と個別の教育支援計画の実際を理解する。			
授業の概要 知的障害教育への素養を育む契機となるように、知的障害教育の歴史、現状と課題、教育課程、個別の教育支援計画について講述する。			
授業計画 第1回：知的障害教育の歴史 第2回：知的障害教育の現状と課題（1）現状 第3回：知的障害教育の現状と課題（2）課題 第4回：知的障害教育の現状と課題（3）まとめ 第5回：知的障害教育の教育課程（1）背景 第6回：知的障害教育の教育課程（2）実際と展開①学習指導要領と教育課程 第7回：知的障害教育の教育課程（3）実際と展開②自立活動 第8回：知的障害教育の教育課程（4）課題 第9回：知的障害教育の教育課程（5）まとめ 第10回：知的障害教育における個別の教育支援計画（1）歴史的背景 第11回：知的障害教育における個別の教育支援計画（2）実際と課題①個別の教育支援計画と教育課程 第12回：知的障害教育における個別の教育支援計画（3）実際と課題②実態把握の方法 第13回：知的障害教育における個別の教育支援計画（4）実際と課題③関係機関等との連携 第14回：知的障害教育における個別の教育支援計画（5）まとめ 第15回：総括 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 特別支援教育の基礎（宮本信也監、東京書籍）			
参考書・参考資料等 「個別の教育支援計画」策定・実施・評価の実際（全国特殊学校長会編、ジアース教育新社）			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 知的障害教育論Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 高田昭夫
			担当形態：単独
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別支援教育領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：知、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 知的障害教育の実際を知る。知的障害教育における独自性について理解を深める。			
授業の概要 知的障害教育の実践をふまえ、その実際と展開を講述する。そこにある背景や課題を提起し、知的障害教育の独自性を理解させ、実りある展開を図るための知識及び技術を提示する。			
授業計画 第1回：知的障害教育における個別の指導計画 第2回：知的障害児の指導法と指導事例（1）教科指導 第3回：知的障害児の指導法と指導事例（2）健康の保持 第4回：知的障害児の指導法と指導事例（3）心理的な安定 第5回：知的障害児の指導法と指導事例（4）人間関係の形成 第6回：知的障害児の指導法と指導事例（5）環境の把握 第7回：知的障害児の指導法と指導事例（6）身体の動き 第8回：知的障害児の指導法と指導事例（7）コミュニケーション 第9回：知的障害児の指導法と指導事例（8）領域・教科を合わせた指導 第10回：知的障害児の指導法と指導事例（9）職業教育と進路指導 第11回：知的障害児の指導法と指導事例（10）情報機器の活用 第12回：知的障害児の指導法と指導事例（11）家庭との連携 第13回：知的障害児の指導法と指導事例（12）地域との連携 第14回：知的障害児の指導法と指導事例（13）関係機関等との連携 第15回：総括 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 特別支援教育の基礎（宮本信也監、東京書籍）			
参考書・参考資料等 「個別の教育支援計画」策定・実施・評価の実際（全国特殊学校長会編、ジアース教育新社）			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 肢体不自由教育論Ⅰ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：須田正信、小田 浩伸
			担当形態：複数
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別支援教育領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に 関する科目 (中心領域：肢、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 肢体不自由教育の歴史と現状と課題を知る。肢体不自由教育における教育課程と個別の教育 支援計画の実際を理解する。			
授業の概要 肢体不自由教育への素養を育む契機となるように、肢体不自由教育の歴史、現状と課題、教 育課程、個別の教育支援計画について講述する。			
授業計画 〈第1回～第4回 担当：須田正信、小田浩伸〉 第1回：肢体不自由教育の歴史 第2回：肢体不自由教育の現状と課題（1）現状 第3回：肢体不自由教育の現状と課題（2）課題 第4回：肢体不自由教育の現状と課題（3）まとめ 〈第5回～第15回 担当：須田正信〉 第5回：肢体不自由教育の教育課程（1）背景 第6回：肢体不自由教育の教育課程（2）実際と展開①学習指導要領と教育課程 第7回：肢体不自由教育の教育課程（3）実際と展開②自立活動 第8回：肢体不自由教育の教育課程（4）課題 第9回：肢体不自由教育の教育課程（5）まとめ 第10回：肢体不自由教育における個別の教育支援計画（1）歴史的背景 第11回：肢体不自由教育における個別の教育支援計画（2）実際と課題①個別の教育支援計画と教 育課程 第12回：肢体不自由教育における個別の教育支援計画（3）実際と課題②実態把握の方法 第13回：肢体不自由教育における個別の教育支援計画（4）実際と課題③関係機関等との連携 第14回：肢体不自由教育における個別の教育支援計画（5）まとめ 第15回：総括 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 肢体不自由教育における子ども主体の子どもが輝く授業づくり（飯野順子編著、ジアース教 育新社）			
参考書・参考資料等 「個別の教育支援計画」策定・実施・評価の実際（全国特殊学校長会編、）ジアース教育新 社）			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 肢体不自由教育論Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 須田正信、羽多野わか 担当形態：オムニバス
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別支援教育領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：肢、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 肢体不自由教育の実際を知る。肢体不自由教育における独自性について理解を深める。			
授業の概要 肢体不自由教育の実践をふまえ、その実際と展開を講述する。そこにある背景や課題を提起し、肢体不自由教育の独自性を理解させ、実りある展開を図るための知識及び技術を提示する。			
授業計画 〈第1回～第2回 担当：須田正信〉 第1回：肢体不自由教育における個別の指導計画 第2回：肢体不自由児の指導法と指導事例（1）教科 〈第3回～第7回 担当：羽多野わか〉 第3回：肢体不自由児の指導法と指導事例（2）運動・動作 第4回：肢体不自由児の指導法と指導事例（3）コミュニケーション 第5回：肢体不自由児の指導法と指導事例（4）日常生活動作 第6回：肢体不自由児の指導法と指導事例（5）補装具、自助具 第7回：肢体不自由児の指導法と指導事例（6）医療的ケアと健康管理 〈第8回～第15回 担当：須田正信〉 第8回：肢体不自由児の指導法と指導事例（7）職業教育と進路指導 第9回：肢体不自由児の指導法と指導事例（8）情報機器の活用 第10回：肢体不自由児の指導法と指導事例（9）家庭との連携 第11回：肢体不自由児の指導法と指導事例（10）関係機関等との連携 第12回：肢体不自由教育における訪問教育（1）歴史的背景 第13回：肢体不自由教育における訪問教育（2）現状 第14回：肢体不自由教育における訪問教育（3）課題 第15回：総括 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 共に学ぶ特別支援教育の基礎と実践（杉野 学著、ジアース教育新社）			
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 病弱教育論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 丹羽登、平賀健太郎
			担当形態：オムニバス
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別支援教育領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：病、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 病弱教育の歴史と現状と課題を知る。病弱教育の教育課程について理解を深める。個別の教育支援計画と指導計画の実際を理解する。			
授業の概要 病弱教育への素養を育む契機となるように、病弱教育の歴史、現状と課題、教育課程、個別の教育支援計画および指導の実際について講述する。			
授業計画 〈第1回～第8回 担当：丹羽登〉 第1回：病弱教育の歴史 第2回：病弱教育の現状と課題（1）現状 第3回：病弱教育の現状と課題（2）課題 第4回：病弱教育の現状と課題（3）まとめ 第5回：病弱教育の教育課程（1）背景 第6回：病弱教育の教育課程（2）学習指導要領と教育課程 第7回：病弱教育の教育課程（3）自立活動 第8回：病弱教育の教育課程（4）課題とまとめ 〈第9回～第15回 担当：平賀健太郎〉 第9回：病弱教育における個別の教育支援計画（1）実態把握の方法 第10回：病弱教育における個別の教育支援計画（2）関係機関等との連携 第11回：病弱教育における個別の指導計画 第12回：病弱児の指導の在り方 第13回：病弱児の指導事例 第14回：職業教育と進路指導 第15回：情報機器等を活用した指導 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 病弱教育における各教科等の指導（丹羽 登監修、全国特別支援学校病弱教育校長会編著、ジアース教育新社）			
参考書・参考資料等 「個別の教育支援計画」策定・実施・評価の実際（全国特殊学校長会編、ジアース教育新社）			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 視覚障害者の心理・生理・病理	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 荒木敦、村上貴孝、正井隆晶 担当形態：オムニバス
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 (中心領域：視、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 視覚障害についての医学的な基本事項について理解する。視覚障害者の心理について理解を深める。			
授業の概要 視覚器の解剖・生理、視機能の評価法、視覚障害の原因疾患について講述する。また、視覚障害者の心理について概説する。			
授業計画 〈第 1 回～第 3 回 担当：荒木敦〉 第 1 回：視覚器の解剖・生理 第 2 回：視機能の評価法（視力、視野） 第 3 回：視覚障害の原因疾患（眼瞼、涙器、結膜、角膜、強膜、ぶどう膜、網膜、硝子体、水晶体の疾患） 〈第 4 回～第 5 回 担当：村上貴孝〉 第 4 回：視覚障害の原因疾患（緑内障、視神経・視覚路、外眼筋の疾患） 第 5 回：視覚障害と知覚（視知覚、触知覚、聴知覚、障害物知覚） 〈第 6 回～第 8 回 担当：正井隆晶〉 第 6 回：視覚障害児の運動発達の課題とその援助 第 7 回：視覚障害児のコミュニケーション発達の課題とその援助 第 8 回：視覚障害の発現時期と障害の受容 試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 新・視覚障害教育入門（青柳まゆみ・鳥山由子編著、ジアース教育新社）			
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。			
学生に対する評価 レポート（50％）と試験（50％）により評価する。			

授業科目名： 聴覚障害者の心理・生理・病理	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 荒木敦、村上貴孝、安達康貴 担当形態：オムニバス
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 (中心領域：聴、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 聴覚障害についての医学的な基本事項について理解する。聴覚障害者の心理について理解を深める。			
授業の概要 聴覚器官の解剖・生理、聴力検査法、聴力障害の原因疾患について講述する。また、聴覚障害者の心理について概説する。			
授業計画 〈第 1 回～第 2 回 担当：荒木敦〉 第 1 回：聴覚器官の解剖・生理 第 2 回：聴力検査と診断法 〈第 3 回～第 4 回 担当：村上貴孝〉 第 3 回：聴覚障害の原因疾患 第 4 回：聴覚障害児の言語・認知発達 〈第 5 回～第 8 回 担当：安達康貴〉 第 5 回：聴覚障害児の学力と社会性の発達 第 6 回：聴覚障害者の心理的問題 第 7 回：聴覚障害者の自我発達と障害受容 第 8 回：聴覚障害者の発達課題（家庭、学校、地域社会） 試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 親と教師のための聴覚障害児の学び（M.マーシャック・P.C.ハウザー著 中川辰雄訳、田研出版）			
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。			
学生に対する評価 2回のレポート（50％）と試験（50％）により評価する。			

授業科目名： 重複障害者等の心理・ 生理・病理	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 荒木敦、伊丹昌一、村上貴孝 担当形態：オムニバス
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 (中心領域：重複・LD等、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 重複障害児、情緒障害児、言語障害児、発達障害児の病態理解のために必要な基本的知識について学ぶ。重複障害児、情緒障害児、言語障害児、発達障害児の心理について理解を深める。			
授業の概要 重複障害児、情緒障害児、言語障害児、発達障害児の病態理解のために必要な基本的知識について講述する。また、重複障害児、情緒障害児、言語障害児、発達障害児の心理について概説する。			
授業計画 〈第1回～第2回 担当：荒木敦〉 第1回：重複障害児の生理・病理 第2回：発達障害児の生理・病理 〈第3回～第4回 担当：伊丹昌一〉 第3回：重複障害の定義と種類 第4回：情緒障害の定義と種類 〈第5回～第6回 担当：村上貴孝〉 第5回：言語障害、発達障害と神経心理学 第6回：言語障害の定義と種類 〈第7回～第8回 担当：伊丹昌一〉 第7回：LD・ADHDの定義とLD・ADHD児の心理 第8回：高機能自閉症等の定義とその特徴 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学） 重度・重複障害児の学習とは？（樋口和彦著、ジアース教育新社）			
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 視覚障害教育論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 正井隆晶
			担当形態：単独
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：視、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 視覚障害教育の歴史、現状と課題、内容と方法についての基礎的な知識を身につけることを目標とする。			
授業の概要 視覚障害教育の歴史、現状と課題、内容と方法について論じ、視覚障害教育の在り方を検討する。			
授業計画 第1回：視覚障害の定義と視覚障害教育 第2回：視覚障害教育の歴史 第3回：視覚障害教育の現状と課題 第4回：視覚障害教育の教育課程 第5回：視覚障害児の文字の読み書きの指導法 第6回：視覚障害児の言語と事物・事象との対応の指導法 第7回：視覚障害児の話しことば・書きことばの理解と表現の指導法 第8回：自立活動と個別の指導計画 定期試験			
テキスト 五訂版 視覚障害教育にかかわる方のために（香川邦生著、慶應義塾大学出版社） 視覚障害者介護技術シリーズ1 初めての点訳（視覚障害者情報提供施設協会）			
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 聴覚障害教育論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 杉田律子 担当形態：単独
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：聴、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 聴覚障害教育の歴史、現状と課題、内容と方法についての基礎的な知識を身につけることを目標とする。			
授業の概要 聴覚障害教育の歴史、現状と課題、内容と方法について論じ、聴覚障害児教育の在り方を検討する。			
授業計画 第1回：聴覚障害の定義と聴覚障害児教育 第2回：聴覚障害教育の歴史 第3回：聴覚障害教育の現状と課題 第4回：聴覚障害教育の教育課程 第5回：聴覚障害児の実態把握方法（聴力、言語発達） 第6回：聴覚障害児の言語指導（聴覚口話法、手話法） 第7回：聴覚障害児の学習指導 第8回：自立活動と個別の指導計画 定期試験			
テキスト 聴覚障害教育の歴史と展望（ろう育科学会編、風間書房） キーワードブック特別支援教育（玉村公二彦（著）、黒田 学（著）、向井 啓二（著）、クリエイツかもがわ）			
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			

授業科目名： 重複障害等教育論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名：伊丹昌一 担当形態：単独
科 目	特別支援教育に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 (中心領域：重複・LD等、含む領域：なし)		
授業のテーマ及び到達目標 重複障害、情緒障害、言語障害、発達障害の教育の歴史、現状と課題、内容と方法についての基礎的な知識を身につけることを目標とする。			
授業の概要 重複障害、情緒障害、言語障害、発達障害の教育の歴史、現状と課題、内容と方法について論じ、各教育の在り方を検討する。			
授業計画 第1回：重複障害教育の歴史 第2回：重複障害教育の現状と課題 第3回：重複障害教育の教育課程と個別の指導計画 第4回：重複障害児の指導の実際 第5回：通級指導教室の教育課程と個別の指導計画 第6回：発達障害教育の歴史と現状と課題 第7回：LD、ADHDの児童の個別の指導計画と指導の実際 第8回：高機能自閉症、アスペルガー症候群の児童の個別の指導計画と指導の実際 定期試験			
テキスト 特別支援教育学習指導要領（文部科学省） 基礎からはじめるインクルーシブ教育の実践（須田正信・中村忠雄・伊丹晶一著、明治図書）			
参考書・参考資料等 必要に応じて指示する。			
学生に対する評価 毎回の感想文（20％）と試験（80％）により評価する。			